

ニュースガイド

- 2面 ロボカップ世界大会でテクニカル7連覇／東都六工大空手で本学好成績／根本さん全国空手で最多6度目V／人命救助の櫻山さんに感謝状
- 3面 PERCなどのチームふたご座流星群母天体の素顔に迫る／PERCが宇宙研の連携拠点に／工業系高校生が大学生と交流会／31年度本学入試の日程
- 4、5面 本学29年度決算を承認／学生共済会予算、決算を承認／ふなばし環境フェア、谷津干潟の日フェスタで村上研、小浦研、環境科学研など展示／いすみ市自然活用へ福嶋さん海老原さんが発表／学生寮大運動会
- 7面 PPA総会／同窓会総会／本学公式Twitter開設
- 8面 6月オープンキャンパス／クラブの活動状況

チュラロンコン大の工学部とも交流協定

小宮一仁学長(右)と真右川は6月19日、タイ・バンコクのチュラロンコン大学を訪問し、工学部のSnout Techarorasitkun(スポット・テーチャウオーラシンサクン)学部長(左)と交流協定を締結した。

同左川と交流協定を締結した。チュラロンコン大はタイで最古の1917年に設立された最も権威ある国立大。18学部と種々の研究機関がある。薬学部とほすに



2016年に協定を締結。工学部とも協定したことで、さらに幅広い学術交流が期待される。

中俊治氏だ。山中氏はこれまで古田所長と手を組んで、ヒューマノイドロボットの「morph3」や、56個のモーターを駆使して、ビークル、アニメーション、インセクトの3形態に変化する移動ロボット「Halluc II」などを創り出した。

発表会に同席した山中氏は「CanguRoのデザイナーが美しくて分かりやすく、人との関わりがよく分かる表現になっていること。結果的にはフレームそのものが美しく、合理的な構造で、あらゆるディテールに美的感覚がふれたものになった」と語った。

未来ロボット技術研究センター(fuRo)は7月4日、ロボットから乗り物へと自動変形する次世代モビリティ「CanguRo」(カングーロ)を報道関係者に公開した。人工知能(AI)全盛時代の人と乗り物との「新しい関係」を先導しようという意欲作。古田貴之所長は「乗り物の新たな価値を創り出して社会変革を起す」と胸を張った。

AI時代の相棒を創る

ついて来る知能ロボ 乗り物にも変形 fuRoが「CanguRo」公開



■ CanguRoの仕様 (抜粋)
全長 550mm (ロイドモード) / 750mm (ライドモード)
全幅 400mm
重量 64kg
速度 10km/h
電池 Li-fe、52.8V
前輪駆動／後輪操舵 (開発したインホイール駆動ユニットを搭載)

▲説明する古田所長(右)とデザイナーの山中(左)



CanguRoはイタリア語で「カンガルー」を意味している。乗り物とロボットとの完全な融合を目指す「Riidoi」(ライドロイド)シリーズと位置づけられている。

CanguRoの開発は人と馬とのパートナー関係を模して進められた。人は馬の主人であり、お互いによき相棒でもある。また、その背に跨れば便利な乗り物となり、爽快な人馬一体感をもたらす。このような人と馬との関係を、高度なAIとロボット技術を駆使して再現したのがCanguRoだ。

ロイドモード(ロボット)時のCanguRoは映画に登場する相棒ロボットのように、時には主人の後をついてきて、買ひ物の荷物運びなどを手伝

記者たちに囲まれるCanguRo



い、離れた場所においても、スマートフォンなどで呼び出せば、fuRo独自のSLAM技術・scanSLAM IIの注参照IIによって、指定の場所まで完全自動操縦で迎えにきく。

主人が移動したい時はライドモードに自動で電動変形し、主人の身体の一部となって移動をサポートする。とりわけ注目なのが旋回機能。スキーでスラロームを滑るよう、CanguRo自体がボディを変形させ、姿勢を傾けながら旋回する。

また、CanguRo本体にはボディ・ソニックスピーカーが内蔵されている。これによって搭乗者には速度に応じたハートビートの鼓動を、サドルの振動を通じて身体全体で感じ取ることができる。

さらにハンドルの力覚フィードバック機能によって、旋回時の回転半径もリアルタイムで「体感」できる。これらの体感機能は、人機一体感を作り出すために実装された技術だ。

移動中、万が一事故を起しそうになっても、スマートストップ機能で自動ブレーキが働き、未然に衝突を回避する。

7月4日、スカイツリータウンキャンパスで開かれた報道陣への発表会。会場をぎっしり埋めた53社74人の記者やカメラマンがCanguRoに熱い視線を向ける中で、古田所長はこう語りかけた。「自動車が生きて100年、依然として乗り物の目的・用途は、A地点からB地点への移動手段であることから変わっていない。私たちの目的は、このAI、ロボットが全盛時代に「インベーター」な乗り物を創ることだ」

その答えが「パーンナルモビリティを超えた真の人機一体・AI時代のパートナー」だった。この目標に向かって古田所長以下のfuRoのスタッフと二人三脚でゼロから挑戦したのが、プロダクトデザイナーの山中俊治氏だ。

7月15日、国際ロボット展「ProtoTyping in Tokyo」先導するデザイナーの制作絵巻『メデア&VIPプレビュー』でもデモを行う予定。

テクニカル 世界7連覇

ロボカップ・カナダ大会で 本学チーム



ロボカップ2018世界大会は6月16〜22日、カナダ第2の都市モントリオールで開催され、本学未来ロボティクス学科チーム「U-T Bains」II写真IIはサッカー・ヒューマンノイドリーグ・キッドサイズ部門のテクニカルチャレンジで7連覇を果たした。

テクニカルチャレンジ(キッドサイズ部門)は、身長60センチ程度(規約は40センチ程度)の自律型ヒューマンノイドロボットが①フットボール②ゴール③ハイキック④ハイキックジャンプ⑤ハイキックの4種目で得点を競う。今大会は世界の強豪5チームが参加した。

U-T Bainsは、ゴールへのシュートの高さを競う④で、参加チーム最高の10ポイントを獲得した。

サッカーは8強に終わる

キットサイズ

U-T Bainsは順調に勝ち進む。次のトーナメント戦に進出。1回戦で英国の社会人チームを2対0で破った。

しかし、次の準々決勝でポルドー大RoboCup Football Clubに9対0の大差で敗れ、13チーム中では同率5位のベスト8に終わった。2014年ブラジル、15年中国大会での優勝に続き期待されていたサッカーゲーム3連覇はならなかった。

ポルドー大チームはその後、準決勝でインドネシアの工科大、決勝でイランの大学チームを破って優勝。そのVチームをテクニカルチャレンジで破ったU-T Bainsは、改めて世界に技術力の高さを示した。

チームの指導に当たった林原靖男教授の話

テクニカルチャレンジは、ロボットの技術開発

男子団体組手、団体形で優勝

個人組手も3人が優勝・準優勝



平成30年度(第66回)東都六工大空手道選手権大会が6月24日(日)、本学の新習志野校舎体育館で開かれた。

本学体育会・空手道部(牧野樹主将II金融・経営リスク科学科4年)は、男子団体組手(5人出場)と団体形(男女3人)で、ともに優勝を果たしたII写真。

男子個人組手では内田雄大さん(プロジェクトマネジメント学科1年)が準優勝。女子個人組手では三浦彩さん(同2

根本さん 6度目V

全国空手で史上最多

本学体育会空手道部のOBで監督の根本敬介さん(平成15年プロジェクトマネジメント学科卒)が、内閣総理大臣杯・第61回全国空手道選手権大会(6月2、3日、東京都渋谷区千駄ヶ谷の東京都体育館で開催)日本空

にチームが取り組んだ時間に比例して結果が outcome ます。その意味で今回の7連覇は、学生諸君が日々から真摯にロボット開発に取り組んだことの表れです。一方、サッカーゲームはハードウェアの開発が安定期に入り、今や「知能の時代」に突入しています。チームに博士を20人も抱えるRoboCup Football Clubがサッカーゲームで圧倒的な強さで優勝したことは、その一つの象徴と言えます。

全力を尽くします。女子で優勝の三浦さんは「去年は準優勝だったので、優勝できてよかった。後輩が入り人数も増えたので、空手部を一層盛り上げていきたい。」

準優勝の富永さんは「満足いかない結果でしたが、冷静さを保ち、これからは頑張っていきたい」と、今後へ闘志をかき立てていた。

三浦さんと富永さんは昨年11月の第30回全日本理工科系大学空手道選手権大会の女子個人組手で、そろって決勝戦に進み、三浦さんが優勝、富永さんは準優勝と、2人で大会を制している。



優勝した根本さん(右端)

手協会主催男子組手の(拓殖大出身)を破り、史上最多・通算6度目の優勝を飾った。

決勝戦は、2度準優勝の経験がある芳賀選手と対戦。5分3本勝負・2本先取りのルールの中、根本選手が立て続けに上段突きを決めると、芳賀選手も上段逆突きなどで返しポイントが並んだ。あと1本で決着という緊迫した局面で、根本選手は右中段逆突きを2連続で出し、これが芳賀選手の顔を捉えて決勝戦を制した。

昭和33年から始まった全国空手道選手権・組手の部で根本選手は全国制覇5回と、谷山卓也選手(拓殖大出身)と並んでい

櫻山さんに感謝状

倒れた男性を連携救助



道路で倒れた人を連携救助したとして、櫻山佳紀さん(電気電子工学科3年II写真)ら3人がこのほど、船橋市東消防署(小形寿昭署長)から感謝状を贈られた。

櫻山さんは3月9日、自宅近くのコンビニで買い物をした帰り、京成バス三山車庫バス停(三山8丁目)付近で、倒れた50代男性を、居合わせた人が助けようとしている場面に遭遇した。

男性は意識がなく心肺停止状態。1人の女性(20代・保育士)が近くのコンビニからAED(自動体外式除細動器)を運んできた。雨が降っていたので、

バス停(三山8丁目)付近で、倒れた50代男性を、居合わせた人が助けようとしている場面に遭遇した。

男性は意識がなく心肺停止状態。1人の女性(20代・保育士)が近くのコンビニからAED(自動体外式除細動器)を運んできた。雨が降っていたので、

「初めての経験でとにかく不安だったけど、胸骨圧迫に加わり女性、自営業の40代男性と3人で、救急隊到着するまで救命措置を続けた。」

櫻山さんは2年前の運転免許取得時にAED講習を受けていた。

「初めての経験でとにかく不安だったけど、必死でした。4月半ばに、男性が社会復帰したと聞いて安心しました」と振り返った。

東消防署は、市内のコンビニ200余店にAED配置を進めてから初の救命事例として「勇気ある3人とコンビニのAEDが救った命」と、市のサイトで紹介している。

ふたご座流星群

母天体の素顔に迫る

PERCCと国立天文台・北大などのチーム



荒井主席研究員



小林上席研究員



石丸研究員

毎年夜空に見られる3大流星群の一つ、ふたご座流星群について、その母天体である小惑星フェートン(Phaethon)「ファエトン」と呼ばれる一...

荒井主席研究員が大きいことを示唆している。室内の実験値と合わせ推定すると、表面物質の粒の直径は360...

小林上席研究員が、フェートンは太陽の近くを定期的に通過するので、太陽熱で表面粒子が焼き固められたのか、あるいは微細な粒が...

石丸研究員が、観測して、これらの謎の解明にあたる。チームはPERCCの荒井朋子主席研究員、小林...

この成果は英オンライン科学誌ネイチャー・コミュニケーションズ(6月27日付)に掲載された。

PERC 宇宙研「連携拠点」に採択

惑星探査技術開発や人材育成へ

本学惑星探査研究センター(PERC)が、日本の宇宙科学研究の核である宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所(ISSASII略称「宇宙研」)の大学共同利用連携拠点に採択され、

一連の枠組みを通して、太陽系科学探査を観測・観測装置の面から担う人材を継続して育成するサイクルを確立。この...

サイクルを通して、アストロバイオロジーの新展開も目指すとしている。具体的には、ダスト観測装置(カウンターとア...

ナライザー)、天体表面撮影用観測カメラ、ダスト捕集機構などの機器開発とそれらを開発できる人材の育成を目指す。

現在、JAXAと進める「深宇宙探査技術実証機 DESTINY+」計画でもこの枠組みを活用してミッションの詳細や搭載観測機器を検討していく。

先輩の体験を聴く

工業系高校生が大学生と交流会

千葉県下の工業高校の生徒が、工業高校から進学した現役大学生の体験などを聴く交流会が6月15日、津田沼2号館大教室を会場に開かれた。

千葉県下の工業高校の生徒が、工業高校から進学した現役大学生の体験などを聴く交流会が6月15日、津田沼2号館大教室を会場に開かれた。

交流会と県高校教育研究会工業部会が年に一度開くもので、4回目の今回は6高校の生徒約50人が引率教員とともに参加。

工学系(AI)やIoT(モノのインターネット)、ロボットなどの高度な技術が実用化され、社会にあふれるに従って、工業系高校生の大学進学意欲も高まっている。

工業系高校から工科系大学に進んだ先輩たちは、そうした状況をどう乗り越えたか、高校と大学の勉強と研究の違いや大学生活の実際、卒業後の進路選択など、普段、高校生が膝を交えて話し合...



千葉工大生(左)の説明を聞く高校生たち

工業系高校から工科系大学に進んだ先輩たちは、そうした状況をどう乗り越えたか、高校と大学の勉強と研究の違いや大学生活の実際、卒業後の進路選択など、普段、高校生が膝を交えて話し合...

高校生たちは交流会に参加した。

先立って、未来ロボット技術研究センター(fuRO)のレスキューロボット「櫻式」惑星探査研究センター(PERC)の国際宇宙センター

平成31年度 千葉工業大学入学試験日程

AO・推薦・特別・編入学試験

Table with 4 columns: 試験種別, 願書受付期間, 試験日, 合格発表日. Lists various exam types and their schedules.

大学入試センター利用入学試験・一般入学試験

Table with 4 columns: 試験種別, 願書受付期間, 試験日, 合格発表日. Lists university entrance exam schedules.

31年度入試の変更点

平成31年度入試の日程がこのほど右表のように決定した。昨年度同様、工学部3学科、創造工学部6学科、先進工学部3学科、情報科学部2学科、社会システム科学部3学科の全17学科で募集が行われる。

事業活動収支計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

Table with 4 columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Rows include 事業活動収入の部, 事業活動支出の部, 教育活動外収支, 特別収支, 基本金組入前当年度収支差額, etc.

Summary table with 4 columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Rows include 事業活動収入計, 事業活動支出計.

貸借対照表

平成30年3月31日

(単位:円)

Table with 4 columns: 科目, 本年度末, 前年度末, 増減. Rows include 資産の部 (固定資産, 流動資産), 負債の部 (固定負債, 流動負債), 純資産の部 (基本金, 繰越収支差額).

Table with 4 columns: 科目, 本年度末, 前年度末, 増減. Rows include 負債の部 (固定負債, 流動負債), 純資産の部 (基本金, 繰越収支差額).

千葉工業大学決算(平成29年度)を承認

学校法人千葉工業大学の平成29年度決算が、5月23日の理事会・評議員会で承認された。平成29年度は教育・研究活動・学生クラブ活動を支えるべく、新習志野キャンパスに新講義棟を、西浜に武道場を建設。また、女子寮を増築するなど、環境整備の充実を目指した予算となった。(29年度事業計画の全文は本学ウェブサイトで公開中)

1 教育研究活動

- (1) 入学試験関係
平成30(2018)年度入学試験における学部入試の総志願者数は8万449名(前年度7万6011名)となった。
(2) 学生生活の満足度向上へ向けた継続的対応
① 学生生活アンケート調査の実施と活用
② 授業アンケート調査の実施と活用
③ 大学生基礎力調査(自己発見レポート)の実施と活用
④ ICTを活用した学生サービス
⑤ 単位互換制度
⑥ 入学前教育の充実
⑦ 教養基礎教育カリキュラムの充実
⑧ TOEIC試験の実施
⑨ テーマ別履修の実施と課題探究セミナー(総合学際科目)との連携
⑩ 教養特別科目(ボランティア、国内インターン、国際インターン、ソーシャルアクティブラーニング)の実施
⑪ 初年次教育の充実
⑫ 初年次教育科目における新たな取り組み(サイバー大)

2 研究推進活動

- (1) 海外交流協定大学との連携強化とグローバル化
① 学生の国際交流
② 短期派遣プログラム
③ 協定大学からの交換留学
④ クラス担任制
⑤ 習熟度別教育の充実
⑥ 包括協定に基づく神田外語大学との連携事業
⑦ 大学院志願者増加に向けた取り組み
⑧ JABEE(日本技術者教育認定機構)認定申請に向けた取り組み
⑨ F/D活動の推進
⑩ F/Dフォーラムの開催
⑪ 授業の公開
⑫ F/Dラボの開催
⑬ FDニュースの作成
⑭ 教育業績の表彰
⑮ 科学研究費助成事業
⑯ 公的受託
⑰ 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
⑱ 良質な住宅ストック形成のための市場環境整備促進事業(国交省)
⑲ 戦略的基盤技術高度化支援事業(経産省)
⑳ 産学連携研究開発プロジェクト

3 学生支援関係

- (1) 学生支援の充実強化(学生相談、課外活動、学生寮、奨学金等)
① 学生相談
② 課外活動支援の充実
③ 学生寮生に対する支援
④ 奨学金支援活動
⑤ 障がい学生支援の充実
⑥ 学生共済会の充実
⑦ 見舞金給付
⑧ 学生納付金貸与制度
⑨ こころからのたの気サポーター
⑩ 暮らしの法律相談
⑪ 学生補償サポート制度
⑫ 備蓄食の購入
⑬ 留学生の派遣及び受け入れ体制の充実
⑭ 留学生への支援の充実
⑮ 在籍管理等の強化
⑯ 教科書及び参考図書(シラバスコーナー)の拡充・整備
⑰ 利用者目線に沿った学習環境の維持・整備
⑱ 自学自習やアクティブラーニングの支援、図書館利用促進

4 施設設備整備関係

平成29(2017)年度は、新習志野キャンパスの新講義棟(7号館)及び西浜運動施設では武道場が完成した。また、新習志野校舎再開発計画において、女子寮を増築を平成29(2017)年9月に着工。昨年度に続き、魅力ある大学

・短期招聘プログラム
② 海外交流協定大学との教職員交流
・瀬戸熊理事長の協定大学訪問
・小宮学長の協定大学訪問
・SD活動
・客員研究員
・本学訪問
(2) 地方自治体等との国際交流協力活動
① 日本メキシコ学生交流
② 国際交流セミナー
(3) 国または地方公共団体等からの競争的研究資金等の獲得支援
① 科学研究費助成事業
② 公的受託
③ 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
④ 良質な住宅ストック形成のための市場環境整備促進事業(国交省)
⑤ 戦略的基盤技術高度化支援事業(経産省)
⑥ 産学連携研究開発プロジェクト

③ その他
(7) 惑星探査研究センター(PERC)
惑星探査研究センターは、惑星探査装置の開発、惑星探査データの解析、惑星科学研究および惑星科学に関する啓蒙を主な活動内容としている。
(8) 人工知能・ソフトウェア技術研究センター(STAIR Lab)
人工知能・ソフトウェア技術研究センターは人工知能とソフトウェア技術を研究・開発する機関として平成27(2015)年4月に発足。満3年の29(2017)年度末には常勤9名の研究員が研究に従事している。
(9) 次世代海洋資源研究センター(ORCENG)
次世代海洋資源研究センターは、世界初の海洋資源開発実現に向けて、海洋資源の探査・揚鉱・選鉱・製錬といった基礎から応用に至る多様な研究・開発を実施する機関として平成28

(2016)年4月に発足した。平成29(2017)年度は、常勤5名、非常勤5名の研究員が研究に従事している。
(10) その他の活動
① ロボカップ世界大会in名古屋 テクニカル世界6連覇
② ロケットフェス(御宿)
③ 市・3大学がガイドブック無料配布

づくりの一環として、教育・研究活動・学生クラブ活動を支える環境整備の充実に努めた。

- (1) 新習志野キャンパス新講義棟(7号館)建設
- (2) 西浜運動施設武道場建設
- (3) 女子寮増築
- (4) その他

5 地域・社会への貢献

- (1) 公開講座
- (2) 産官学連携協議会関係
- (3) 各種のご案内
- (4) 工場見学
- (5) 会員企業による合同企業説明会
- (6) その他の産学連携

6 法人管理・運営関係

- (1) 情報システムのセキュリティ強化と監視体制整備
- (2) セキュリティリスク軽減のための情報セキュリティ教育の実施
- (3) インシデント発生時の対応策と規程の整備
- (4) 自己点検評価活動
- (5) 公的研究費等の監査の実施

- (1) 通常監査、特別監査の実施
- (2) 不正防止計画履行状況調査
- (3) 機器備品監査の実施
- (4) 財産監査の実施
- (5) その他
- (6) 自己管理型点検評価チェックリストシステムの実施
- (7) 公益通報制度の充実
- (8) SD活動の充実
- (9) 衛生委員会の取り組み
- (10) 職場巡視の実施
- (11) 作業環境測定の実施
- (12) 長時間労働者に対する医師面談制度の導入
- (13) 婦人科がん検診補助金制度の導入
- (14) 『輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会』への参画

7 財務の概要

資金収支計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	13,750,000,000	13,754,460,500	△4,460,500
手数料収入	354,800,000	361,392,016	△6,592,016
寄付金収入	100,500,000	118,331,467	△17,831,467
補助金収入	715,000,000	720,963,420	△5,963,420
資産売却収入	90,200,000	90,341,524	△141,524
付随事業・収益事業収入	682,000,000	754,190,697	△72,190,697
受取利息・配当金収入	319,000,000	319,836,160	△836,160
雑収入	273,500,000	297,704,135	△24,204,135
前受金収入	4,907,700,000	4,949,584,283	△41,884,283
その他の収入	16,431,800,000	17,894,973,959	△1,463,173,959
資金収入調整勘定	△5,211,300,000	△5,178,786,555	△32,513,445
前年度繰越支払資金	8,402,100,000	8,402,119,442	
収入の部合計	40,815,300,000	42,485,111,048	△1,669,811,048

支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	7,178,000,000	7,106,976,688	71,023,312
教育研究経費支出	4,193,500,000	3,979,879,208	213,620,792
管理経費支出	1,219,600,000	1,137,882,108	81,717,892
施設関係支出	1,972,200,000	1,970,824,320	1,375,680
設備関係支出	728,300,000	690,770,354	37,529,646
資産運用支出	14,081,700,000	16,579,269,317	△2,497,569,317
その他の支出	2,915,900,000	2,890,823,935	25,076,065
資金支出調整勘定	△385,600,000	△654,776,938	269,176,938
翌年度繰越支払資金	8,911,700,000	8,783,462,056	128,237,944
支出の部合計	40,815,300,000	42,485,111,048	△1,669,811,048

(1) 教育活動収支
①教育活動収入計160億6000万円(予算比1億3100万円増 前年度比3700万円減)

教育活動収入計は、手数料、寄付金、付随事業収入、雑収入等の項目で予算比増となった。②教育活動支出計156億2000万円(予算比3億6500万円減 前年度比2億900万円増)

a 人件費は、研究員、嘱託職員等の増加があったものの、予算比7000万円減の71億8000万円となった。人件費比率は43.5%で、理工系他複数学部を有する私立大学の平均値(49.9%)に比べ、引き続き良好な水準となった。

b 教育研究経費は、消耗品費、修繕費、委託費、報酬・手数料等で予算額を下回り、予算比2億1400万円減となった。教育研究経費比率は41.2%で、理工系他複数学部を有する私立大学の平均値(35.5%)に比べ、引き続き高い値となった。今後も同程度の比率が続くと予測している。

c 管理経費は、予算比8200万円減となった。消耗品費、光熱水費、委託費など、全体としては経費圧縮に努めた結果となった。管理経費比率は11.0%で、理工系他複数学部を有する私立大学の平均値(6.2%)と比べ若干高くなったが、今後更なる経費圧縮に努めていく。

(2) 教育活動外収支
教育活動外収入計は、有価証券の受取利息・配当金により、3億2000万円となった。教育活動外支出は、為替差損1円だった。

(3) 特別収支
特別収入計は有価証券などの資産売却差額で8500万円、現物寄付や過年度修正収入などで1億3900万円、合わせて2億2400万円となった。特別支出計は、資産処分差額や過年度修正支出などで2000万円増となった。

(4) 事業活動収入計165億5000万円(予算比1億6200万円増 前年度比3億2100万円増)

事業活動収入計は、前年度比で3億2100万円の増加となった。主な要因は、教育活動収入の学生生徒等納付金(8600万円増)及び付随事業収入(1億200万円増)、教育活動外収入の受取利息・配当金(2億2100万円増)、特別収入計(1億3700万円増)などが増加したことによるもの。

(5) 事業活動支出計156億4000万円(予算比3億6600万円減 前年度比1億7300万円増)

事業活動支出計は、前年度比で1億7300万円の増加となった。主な要因は次のとおり。

①管理経費の効率化
②教育研究経費の見直し

主な内訳・消耗品費1億1400万円減、修繕費1億9200万円減、委託費2億2300万円増、報酬・手数料2億5500万円増、減価償却額4200万円減、管理経費6800万円減

主な内訳・修繕費1億9300万円減、報酬・手数料4300万円増、減価償却額1900万円減

(6) 基本金組入前当年度収支差額は9億1000万円(予算比5億2700万円増 前年度比1億4900万円増 事業活動収支差額比率5.5%)

(7) 基本金組入額13億2900万円

(8) 当年度収支差額は4億1800万円の支出超過となった。翌年度の繰越収支差額を合わせると、72億1600万円の支出超過となった。

(9) 今後の課題
今後も引き続き財務基盤の安定をはかるため、次のような課題に取り組んでいく。

①学生生徒等納付金の安定的確保
②外部資金の獲得
③より効果的な資産運用とリスク管理の徹底

④その他の収入源確保策の検討

①管理経費の効率化
②教育研究経費の見直し

学生共済会 予算、決算を承認

予算

理事会で協議した結果、平成30年度学生共済会予算案は異議なく承認された。

予算の概要は次のとおり。

△収入の部▽
受取利息
金利低迷の中、余裕資金の運用を行ったことにより投資有価証券から発生する利息として300万円を計上した。

前年度繰越金2507万2284円

(8) 当年度収支差額は4億1800万円の支出超過となった。翌年度の繰越収支差額を合わせると、72億1600万円の支出超過となった。

(9) 今後の課題
今後も引き続き財務基盤の安定をはかるため、次のような課題に取り組んでいく。

①学生生徒等納付金の安定的確保
②外部資金の獲得
③より効果的な資産運用とリスク管理の徹底

④その他の収入源確保策の検討

支出の部▽

給付金支出金額は、昨年度は健康づくりサポート費用として600万円だったが、今年度は300万円を計上した。

学費貸与金
学費貸与金支出額は、昨年度760万円程度だったが、各種奨学金の申請状況を考慮し、2000万円を計上した。

昨年同様、このところからの元気サポート、暮らしの身近な法律相談の継続に係る費用として、

710万円を計上した。

災害時の非常用保存食の購入費として、300万円を計上した。

直すきっかけになることにも多様なサポートができるよう、共済会事業の運営に努めたい。

千葉工業大学学生共済会も30年目を迎え、会員の学生生活が豊かなものとなるよう、制度の充実を図りつつ、平成29年度も順調に運営されました。

支出の部では、健康サポート制度として、飲酒やタバコに関する講演会やアルコールパッチの配布、インフルエンザ予防接種補助をすることができ、今後も生活習慣を見直すきっかけになることにも多様なサポートができるよう、共済会事業の運営に努めたい。

平成30年度千葉工業大学学生共済会収支予算

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 会費収入	24,000,000	1. 支払保険料	17,500,000
2. 入会金収入	4,500,000	2. 給付金	3,000,000
3. 受取利息	3,000,000	3. 貸与金	20,000,000
4. 貸付金回収収入	21,000,000	4. 委託費	7,100,000
5. 手数料収入	1,600,000	5. 消耗品費	3,000,000
		6. 通信費	300,000
		7. 印刷費	400,000
		8. 会議費	250,000
		9. 支払手数料	400,000
		10. 事務費	200,000
小計	54,100,000	小計	52,150,000
前年度繰越金	25,072,284	次年度繰越金	27,022,284
総合計	79,172,284	総合計	79,172,284

平成29年度決算報告書

貸借対照表			
平成30年3月31日			
千葉工業大学学生共済会			
資産の部		正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
普通預金	55,086,284	預り金	14,000
定期預金	205,000,000	共済基金	205,000,000
貸付金	124,122,867	積立金	165,000,000
投資有価証券	300,000,000	貸付充当金	124,122,867
		学費貸与準備金	165,000,000
		次年度繰越金	25,072,284
合計	684,209,151	合計	684,209,151

平成29年度収支決算書

自 平成29年4月1日 : 至 平成30年3月31日

I 収入の部			
科目	予算額(①)	決算額(②)	対予算差額(②-①)
1. 会費収入	24,000,000	24,285,000	285,000
2. 入会金収入	4,500,000	4,810,000	310,000
3. 受取利息	40,000	1,739,615	1,699,615
4. 貸付金回収収入	24,000,000	20,695,036	-3,304,964
5. 手数料収入	1,600,000	1,551,298	-48,702
6. 学費貸与準備金取崩収入	0	0	0
7. 積立金取崩収入	0	3,000,000	3,000,000
8. 当期小計	54,140,000	56,080,949	1,940,949
9. 前年度繰越金	39,486,149	39,486,149	0
10. 当期収入総計(A)	93,626,149	95,567,098	1,940,949

II 支出の部			
科目	予算額(①)	決算額(②)	対予算差額(②-①)
1. 支払保険料	23,500,000	18,484,568	-5,015,432
2. 給付金	6,000,000	1,856,000	-4,144,000
3. 貸与金	20,000,000	7,652,500	-12,347,500
4. 委託費	7,100,000	7,048,080	-51,920
5. 消耗品費	6,000,000	4,802,940	-1,197,060
6. 通信費	300,000	21,347	-278,653
7. 印刷費	300,000	102,600	-197,400
8. 会議費	250,000	187,672	-62,328
9. 支払手数料	400,000	336,747	-63,253
10. 事務費	200,000	2,360	-197,640
11. 学費貸与準備金組入支出	0	0	0
12. 共済基金組入支出	0	0	0
13. 積立金組入支出	0	30,000,000	30,000,000
14. 当期小計(B)	64,050,000	70,494,814	6,444,814
15. 次年度繰越金(A)-(B)	29,576,149	25,072,284	-4,503,865

注: 共済会の会計では、継続的に資金の収支を確認するため、金額がゼロの科目について省略することなく記載している。

命と環境 研究成果を展示

村上研、小浦研、環境科学研



村上研が「ふなばし環境活動マップ」を展示



文化会・環境科学研の展示

ふなばし環境フェアで

三番瀬を抱える船橋市で6月23日、「第21回ふなばし環境フェア」が未来をつくる、つなげよう、みんなで守る船橋の環境」が、ふなばし三番瀬海浜公園・環境学習館で開かれ、工作・体験コーナーや生き物教室、環境関連技術の説明、研究のパネル展示などにぎわった。

環境科学研究会は、継続的に実施している印刷沼と谷津干潟の調査結果をパネル展示。pHメーターやバックテストで水質分析のデモンストレーションを行った。

村上研は、海浜公園池（汽水湖）の環境修復につ

いて①生物炭素量からみた生態系構造解析②24時間連続モニタリングにお

いすみ市の自然活用へ

福島さん海老原さんが事業計画

房総半島の南東沿岸・いすみ市と協定大学が地域づくりを目指す「地域連携大学による事業発表会」が6月23日、いすみ市役所で開催された。本学の福島直樹さんと海老原由樹さん（ともに生命環境科学専攻修士2年、矢沢勇樹研究室）が今年度の事業計画をプレゼンテーションしたほか、千葉大、早稲田大、武蔵野美術大、跡見学園女子大などの研究チームが企画を発表した。

けるプランクトン相解析——などの研究成果を示すとともに谷津干潟関連のパネルを展示。自治体関係やNPO、大学関係者らと情報交換した。

に発展することを願っている。福島さん・海老原さんは、昨年度来の事業成果とともに①谷戸田を囲む森林の水源涵養機能と物質供給制御機能の環境諸調査②地域産生の未利用バイオマスを活用した土着菌発酵堆肥（ぼかし肥）の創製及び分析③海藻資材施用による荒漠化土壌

（耕作放棄地）のマイクロバイオーム形成——の三つの事業計画を掲げ説明した。いすみ市の里山・里地の海のつながりを考察し、流域を介した一体的管理と物質循環型未利用バイオマス資源の活用を提案したもので、「第5回生物の多様性を育む農業国際会議「いすみ市」

（7月20〜22日）でも発表する。矢沢研究室のいすみ市での活動は、週末農業を始めていた本学OBの誘いで始まり4年目。域学連携事業としては2年目となる。本学卒業生の上島浩一副市長（昭和50年建築科卒）らは地域創生への本学の取り組みに大きな期待を寄せている。

地元小学生らとヨシの苗植える

矢沢准教授と研究室の学生10人は6月28日、いすみ市を流域とする夷隅川河口北側のラグーン（潟湖）で、地元の市立長者小学校6年生34人とともにヨシ（葦）の苗約2万5千株を植えた。矢沢准教授が理事を務

めるNPO草炭緑化協会が環境保全活動の一環でイオン環境財団の第27回環境活動助成先に採択されている。苗は協会が用意し長者小で育てた。この日はラグーン脇の砂地約1200平方メートルに学生たちが深さ約15センチの穴を掘り、児童らがポットから取り出した苗を丁寧に植えていった。

障害物や40人41脚

学生寮大運動会 520人が活躍



障害物競争



実行委員会のメンバー



移動玉入れ



騎馬戦

観戦した教員らは「真剣に勝負している姿に、こちらも熱くなってしまう。手に汗握る勝負の行方に、大いに笑った」と語った。寮長で体育祭実行委員長の小林さんは「寮運動会は異なる学年の連携交流が狙いなので、寮生たちがフロアごとに団結し仲間を熱心に応援している姿を見て、企画運営の大変さも吹き飛びました。皆の協力で感謝します」。雨天や熱中症への対策など、反省点もあるという。

してもらって水環境の健全性指標を調査し、市民感覚での谷津干潟の環境評価を試みた。

小浦研は、北米原産で今や東京湾に定着しているホンビノス貝（白ハマグリ）、または大アサリの殻を粉末化し、水質悪化を招く硫化物の除去に活用する研究や、水質浄化のための電気透析手法に関するパネルを展示した。

村上研(生物圏環境研)が来訪者と交流



今年ラムサール条約登録25周年、オーストラリア・ブリスベン市との湿地協定締結20周年に当たり、6月9日にはセレモニーが催された。

ラムサール条約登録地の大切さを考える「谷津干潟の日フェスタ」が今年も5月3日〜6月10日、習志野市秋津の谷津干潟自然観察センターで開かれた。今年の副題は「まると味わう干潟の幸せ」。シギ、チドリなど渡り鳥の観察会やスタンプラリー、各種教室、音楽会などが行われた。本学は習志野市環境審議会委員の生命科学科・五明美智男教授と村上和仁教授が運営に参加。展

示ブースに村上研究室（生命環境科学科・生物圏環境研究室）と小浦節子研究室（同・生活圏環境研究室）が出展し、多くの参加者と交流した。文化会の環境科学研究会（顧問＝村上教授）と生物部（顧問＝橋本香保子准教授）も、谷津干潟ユースとして運営に携わった。会場では体育会よさこいソーラン風神部が演舞を披露し会場を盛り上げた。

環境保全に関する調査研究のパネル▽底生生物・付着珪藻・水質からみた三角干潟および高瀬川の環境評価▽底生生物からみた谷津干潟船溜りおよび谷津川の環境評価▽市民調査による谷津干潟の水環境健全性評価▽房総半島におけるマクロベントスBMPスコア法による河川環境評価——などを展示。同時に来場者に参加

平成30年度 PPA地区懇談会会場

開催時刻：13時(本学は12時30分予定)

地区	開催日	会場名	電話
札幌	9月2日(日)	ホテルマイステイズ札幌アスペン	011-700-2111
旭川	9月1日(土)	藤田観光ワシントンホテル旭川	0166-23-7111
釧路	9月1日(土)	釧路プリンスホテル	0154-31-1275
函館	9月1日(土)	ホテル函館ロイヤル	0138-26-8181
青森	9月2日(日)	ホテルJALシティ青森	017-732-2580
秋田	9月8日(土)	イーホテル秋田	018-865-7111
山形	9月2日(日)	山形国際ホテル	023-633-1313
酒田	9月1日(土)	ホテルリッチ&ガーデン酒田	0234-26-1111
盛岡	9月9日(日)	ホテル東日本盛岡	019-626-9083
仙台	9月9日(日)	ANAホリデイ・イン仙台	022-256-5111
福島	9月8日(土)	ホテル辰巳屋	024-522-5117
会津	9月9日(日)	ルネッサンス中の島	0242-24-5151
いわき	9月2日(日)	いわきワシントンホテル	0246-35-3000
新潟	9月8日(土)	ANAクラウンプラザホテル新潟	025-245-3333
長岡	9月9日(日)	ホテルニューオータニ長岡	0258-37-1111
富山	9月1日(土)	ホテルグランテラス富山	076-431-2211
長野	9月2日(日)	ホテルJALシティ長野	026-225-1131
松本	9月8日(土)	アルピコプラザホテル	0263-36-5971
小諸	9月1日(土)	小諸ランドキャッスルホテル	0267-22-8000
宇都宮	9月8日(土)	ホテルニューイタヤ	028-635-5511
栃木	9月9日(日)	栃木ランドホテル	0282-22-1236
高崎	9月8日(土)	高崎ワシントンホテルプラザ	027-324-5111
さいたま	9月9日(日)	浦和ロイヤルパインズホテル	048-827-1111
水戸	9月1日(土)	水戸京成ホテル	029-226-3111
土浦	9月2日(日)	ホテルグリーンコア土浦	029-822-4111
潮来	9月2日(日)	潮来ホテル	0299-62-3130
甲府	9月9日(日)	ホテル談露館	055-237-1331
沼津	9月2日(日)	プラザヴェルデ	055-920-4100
静岡	9月1日(土)	ホテルアソシア静岡	054-254-4141
浜松	9月2日(日)	オークラアクティシティホテル浜松	053-459-0111
名古屋	9月9日(日)	名古屋国際ホテル	052-961-3111
大阪	9月8日(土)	ホテルアウィーナ大阪	06-6772-1445
広島	9月8日(土)	ホテルニューヒロデン	082-263-3453
松山	9月1日(土)	ホテルサンルート松山	089-933-2811
高知	9月2日(日)	ザ・クラウンパレス新阪急高知	088-873-1111
福岡	9月9日(日)	ホテルセントラーザ博多	092-461-0111
大分	9月8日(土)	JR九州ホテルブラッサム大分	097-578-8719
宮崎	9月2日(日)	ホテルJALシティ宮崎	0985-25-2580
鹿児島	9月1日(土)	鹿児島サンロイヤルホテル	099-253-2020
那覇	9月8日(土)	ホテルロイヤルオリオン	098-866-5533
本学	9月30日(日)	津田沼校舎2号館3階大教室	047-478-0209



PPA新会長に深水氏

30年度総会 新習志野で開く

「千葉工大」ブランドの飛躍的な上昇を背景にした入学志願者数の増加や、好調の就職状況などを受けた平成30年度のPPA総会が6月30日、新習志野キャンパス体育館で開かれ、II写真、保護者と教職員合わせて約650人(他に委任状3828人)が出席。会場は本学の躍進ぶりを改めて実感した学生の父母たちの熱気に包まれていた。

冒頭のあいさつで白川恒平会長は、PPAが来年は発足70周年を迎えることに触れ、「この間、PPAは学生の学びをより充実させるための課外活動支援、奨学支援、進路支援を三本柱に、大学の活動を側面から支援してきた」と、本学の現在の躍進にPPA活動も大きな役割を果たしたと語った。

続いて小宮一仁学長は特に力を入れて取り組んできた教育改革の成果として、学長就任前には毎年5%を超えていた学部学生の退学率が2%と、全国の理工系大学の平均を大きく下回るまでに低下したこと、ストレートに4年間で卒業する学生の割合も6割から8割に増加したことを報告。

「急速に押し寄せるグローバル化の波の中で、将来のグローバルリーダーとして活躍するために、ご子息・ご息女には学部卒業後は大学院修士課程にぜひ進学するよう奨めていただきたい」と訴えた。

また瀬戸熊修理事長は英国の高等教育専門誌「タイムズ・ハイアー・エデュケーション」の世界大学ランキング2018(世界81カ国1102大学)で、本学は2年連続ランク入り(日本からは私学28大学を含む89大学)したこと、経済誌「東洋経済」の「本場に強い大学総合ランキング」でも全国300校中36位に入ること、国内外で評価が高まっていること、「これからも『世界文化に技術で貢献する』という建学の精神を高く掲げて、創立100年に向かって邁進していきます」と決意を述べた。



津田沼校舎4号館で開かれた同窓会総会



懇親会会場で。若い世代も多く参加 瀬戸熊理事長(左)と歓談

今年で創立71周年を迎える千葉工業大学同窓会の平成30年度通常総会が6月2日、津田沼校舎4号館で開かれ、これまで6年間、会を牽引してきた坂本洋会長(昭和45年卒)の3氏の副会長就任など、理事、特命理事、評議員、幹事の新たな役員陣を承認した。

承認を受けて池永新会長は「母校の社会的評価の目覚ましい向上は、卒業生にとっても大きな誇りです。同窓会も会員が8万6千人を超える大きな規模となり、これからは毎年、さらなる増加が見込まれている。この同窓会のパワーが母校の発展の支えになるよう、支部活動に重点を置いた組織の活性化に力を尽くしていきたい」と抱負を語った。

来賓としてあいさつした小宮一仁学長は、今年春の入学試験の志願者数が全国ベスト10を守ったこと、教育改革の成果が顕著に表れていること、経済誌「東洋経済」の企画「本場に強い大学総合ランキング」で、本学は全国300校中36位に入っていること、紹介した。

「出口(就職)を制する大学は入り口(入試)も制する」という豊田耕作前理事長の言葉を奉じて「頑張っています」と報告すると、会場からどっと拍手と歓声が上がった。

会は恒例の鏡開き、お楽しみ抽選会と進み、5人の応援団のエンルで校歌斉唱。160人余のOBたちは、このキャンパスで過ごした学生時代に返って旧交を温めていた。

議事は平成29年度事業・決算・監査報告と30年度事業計画・予算案を全会一致で承認。PPA地区懇談会を左表の日程で開催することが決まった。

さらに会長以下の新役員と評議員を選任した。新役員は次の通り(敬称略)

会長 深水進(プロシエ)

エクトマネジメント学科3年の保護者)▽副会長 小澤俊之(情報通信システム工学科2年の保護者)▽同 橋本和明(理事・評議員II応用化学科教授)▽監事 田部井洋子(電気電子工学科2年の保護者)▽同 村上利幸(経営情報科学科准教授)

総会後は恒例の学科懇談会および個別面談が行なわれた。

なお、例年、総会会場に充てられている習志野文化ホールが大規模改修工事のため、本年度は新習志野体育館が会場に充てられた。

池永新会長を承認

同窓会総会 教職協働の発展願う

承認を受けて池永新会長は「母校の社会的評価の目覚ましい向上は、卒業生にとっても大きな誇りです。同窓会も会員が8万6千人を超える大きな規模となり、これからは毎年、さらなる増加が見込まれている。この同窓会のパワーが母校の発展の支えになるよう、支部活動に重点を置いた組織の活性化に力を尽くしていきたい」と抱負を語った。

通常総会の後には2号館3階大教室に会場を移して懇親会。

瀬戸熊修理事長は冒頭のあいさつで、本学の運営について「極めて順調に推移している。それらを示す一例として、経済誌「東洋経済」の企画「本場に強い大学総合ランキング」で、本学は全国300校中36位に入っていること、紹介した。

「出口(就職)を制する大学は入り口(入試)も制する」という豊田耕作前理事長の言葉を奉じて「頑張っています」と報告すると、会場からどっと拍手と歓声が上がった。

本学公式 Twitter を開設

千葉工業大学の公式Twitter=写真=が6月初旬、開設された。入試広報課を主体に、大学が実施するイベントやニュースなど、さまざまな情報を発信していく。本学に関心を持つ学内外の人たちに「ぜひフォローを」と呼びかけている。

【公式Twitter URL】
https://twitter.com/chibakoudai_cit

学科説明会 満席に

6月オープンキャンパス

今年度初のオープンキャンパスが6月17日、津田沼キャンパスで開かれた。関東圏外からも高校

生や父母たちが訪れ、来場者は昨年同時期の7月00人を500人以上上回り、3215人を数えた。

来場者たちは、プログラムや配布資料を受けると、「全部見せませう、千葉工大！」と学部学科説明会「A.O入試説明会」などの会場へ次々に足を運び、各会場はじきに満席となった。

各学科によるA.O入試説明会は7号館を中心に行われ、8月のエントリーに向け学科を検討する高校生たちが多く参加した。情報科学部や学部の学科説明会や、学び体験、「コンピュータ演習

講義棟の6号館では、各学科の説明会や学び体験コーナーが用意され、来場者は学科の特徴を見

室をのぞいてみよう！なども開かれた。1階フロアには、学生たちがキャンパスの日々や学食風景を撮った写真、各サークルの活動展示が展示され、来場者たちは足を止めてギャラリーを楽しんだ。学生企画の「在学生Lab」では、入試広報課の学生スタッフが高校生の相談に乗った。

講義棟の6号館では、各学科の説明会や学び体験コーナーが用意され、来場者は学科の特徴を見

室をのぞいてみよう！なども開かれた。1階フロアには、学生たちがキャンパスの日々や学食風景を撮った写真、各サークルの活動展示が展示され、来場者たちは足を止めてギャラリーを楽しんだ。学生企画の「在学生Lab」では、入試広報課の学生スタッフが高校生の相談に乗った。



先端材料工学科の学び体験



学部学科説明会



災害対応ロボットを説明



音環境実験室で



「チバテコ」で



学食ランチを楽しむ

講義棟の6号館では、各学科の説明会や学び体験コーナーが用意され、来場者は学科の特徴を見

室をのぞいてみよう！なども開かれた。1階フロアには、学生たちがキャンパスの日々や学食風景を撮った写真、各サークルの活動展示が展示され、来場者たちは足を止めてギャラリーを楽しんだ。学生企画の「在学生Lab」では、入試広報課の学生スタッフが高校生の相談に乗った。

講義棟の6号館では、各学科の説明会や学び体験コーナーが用意され、来場者は学科の特徴を見

室をのぞいてみよう！なども開かれた。1階フロアには、学生たちがキャンパスの日々や学食風景を撮った写真、各サークルの活動展示が展示され、来場者たちは足を止めてギャラリーを楽しんだ。学生企画の「在学生Lab」では、入試広報課の学生スタッフが高校生の相談に乗った。

クラブの活動状況

文化会	期間	大会・発表会名
演劇部	6/2	老人ホームで発表会
電子工学研究会	6/16	Shirahama Market 電子工作ワークショップ
フォトクラブ	6/16、17	撮影会
写真部	6/17	撮影会
総合工学研究会	6/17	第15回ニソコン
フィッシャークラブ	6/17、23	学釣連バス釣り教室
電気研究部	6/23	関東大学新歓ミーティング
写真部	6/24	撮影会
フィッシャークラブ	6/8、9	部内釣行
体育会	期間	大会・発表会名
卓球部	7/28、29	平成30年度第12回関東学生卓球チームカップ Bブロック
少林寺拳法部	8/3~5	合宿
航空部	7/13~15	練習
硬式野球部	6/23~7/1	平成30年度千葉県大学野球 新人戦
フォークダンス部	7/14	前期納会
よさこいソーラン風神部	8/5、16	香澄夏祭り、第9回かみす舞っちゃげ祭り
二輪部	7/29、8/4、5	関東モトクロス選手権、キャンパスオフロードミーティング第2戦
陸上競技部	7/15	第4回流通経済大学競技会
山岳部	8/3~22	合宿
水泳愛好会	8/5、18	第70回千葉市民総合体育大会、第5回千葉チャレンジカップ水泳大会
サバイバルゲーム同好会	7/7	七夕サバゲー

上記クラブのほか、多くのクラブが課外活動に励んでいます。定期的にいろいろなクラブの活動状況をお知らせしています。



キャンパスを案内する学生



「在学生Lab」で

たり体験に参加した。4号館懇談フロアでは自治会学生たちが中心となって「在学生に聞いてみよう」キャンペーン「アー」などの企画を開

き、丁寧な対応ぶりは保護者からも好評を得ていた。2号館20階では、女子高生の質問に本学女子学生が答える「チバテコ

の部屋」が今回も盛況。1階・入試相談コーナーや一人暮らし相談にはアドバイザーが対応していた。今年度のPPA総会が終

編集だより
数年前から、女子高生のための進学情報誌・キャリアの社会科見学企画に参加している。プロジェクトマネジメン

四季雑感
サッカーのW杯は、1930年、当時のFIFA会長だったフランス人、ジュール・リメ氏が設立した大会であるが、今年には日本が決勝トーナメントに進んだものの、惜しくもベルギーに敗れてしまった。

PPA
今年度のPPA総会が終りました。今年も多くの保護者の方にご参加いただき、貴重なご意見を賜りました。PPA総務担当として総会に携わって十年、多くの保護者の方とお話させて頂く機会を得て、私にとってはとても有意義な経験をさせて